



ジャパンボウルサポーターズグループ主催

第2回講演会

日本初の女子留学生大山捨松

— その生涯と先進性 —

2017年5月20日(土)14:00~16:00 (開場13:30)

渋谷男女平等・ダイバーシティセンター(アイリス)

渋谷区文化総合文化センター大和田 8F

渋谷区桜丘町23-21 TEL 03-3464-3395(渋谷駅から徒歩5分)

アクセス: <http://www.shibu-cul.jp/access.html>

講師: 久野明子

(日米協会副会長)

昨今の若者は「内向き志向」で、世界に羽ばたこうとするチャレンジ精神に欠け、最近では海外に留学する学生数が著しく減少しています。

今から約140年前、わずか11歳で明治政府の命を受けてアメリカに10年間も留学した女性がいました。いったい何のための留学だったのか、アメリカで何を学んだのか、帰国後の彼女を待っていた日本の社会は？現代の日本人は彼女から何を学ぶべきか？

曾孫にあたる久野明子さんが当時の貴重な写真を紹介しながら、日本初の女子留学生大山捨松の隠された秘話について語ります。



久野明子氏プロフィール

慶應義塾大学文学部卒。在学中、慶應—スタンフォード夏季交換留学生プログラムで渡米。卒業後、東京オリンピック組織委員会渉外部、米国オハイオ州政府東京代表などを経て、一般社団法人日米協会専務理事に就任、現在は副会長を勤める。

著書『鹿鳴館の貴婦人大山捨松』(中央公論社)

『昭和天皇最後のご学友』(中央公論新社)

訳書『華族女学校教師の見た明治日本の内側』アリ

ス・ベーコン著(中央公論社)

参加費: 1000円 (学生500円)

講演に先立ち、15分ほどジャパンボウルの紹介、JBSGの活動報告を行います。

また、講演と質疑応答終了後、講師を交えて懇談会を行います。

参加ご希望の方は下記メールアドレスにお問い合わせください。

JBSG代表: 杉本昭子(akiko16sugimoto@gmail.com) (先着50名)